

チャレンジ！！オープンガバナンス 2019 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	17_1/1_2	まちの課題を「ジブンゴト化」し、様々なことにチャレンジしたいと考える人を魅了するまちづくり	豊中市
アイデア名 (注2) (公開)	「運婆爺 S★」		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2019 サイトの中に記載してあるエントリー自治体（連合）が掲げる地域課題を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームが応募されるアイデアにつけるものです。アイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	チームまんなか	
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 2. 学生によるチーム	
メンバー数 (公開)	5名	
代表者情報	氏名 (公開)	佐山 和香奈
メンバー情報		佐藤由大 住永里月 安田朱里 谷田央響

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2019_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2019 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2019@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示-非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「3. 自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

高齢者がまちの若者に見守られ、相互に名前が呼び合える関係づくり
～ニートが本当に生きやすくなるためには～

<解決アイデアの内容>

新しいつながりのあり方！「運婆爺 s」

高齢者と若者のつながりをつくるために、庄内に住む高齢者がまちの若者であるニートに手作りのごはんを持っていく

「運婆爺 s（ウンバージーズ）」。

料理好きが暖かい食事をつくり、料理が苦手な高齢者は自転車や徒歩でニートのもとに運ぶ役割を担う。

そのお返しに、ニートは自身の得意とするものを高齢者にレクチャーする。

日中まちを見守ることができる、なおかつ何か災害が起こったときに若いため体を動かすことができるので若者としてニートを設定する。ニートは自身の生活のことを多く考えているイメージがありがちだが、高齢者との交流を通じて、このまちを深く知り、様々なことを「ジブンゴト化」するきっかけとなることを目指す。

●高齢者メリット

若者と定期的にコミュニケーションをとり、またごはんを作り食べてもらうことで孤独死を防ぐことができ、老化防止につながるのではないかと考える。

●ニートメリット

ごはんを提供されるうえに働くことを強要されることもなく、動画配信を通してまちの魅力、まちの高齢者の魅力を発信することで認められる。

生活に必要なものは提供される代わりに、魅力を発信するというかたちで双方の関係が成り立ち、つながりが生まれるのではないかと



さらに、ニートの拠点をつくるために、今後廃校予定である野田小学校を住居施設として再活用し、ニートの住まいとする。

ニートは、働いていたが何らかの理由でやめてしまった、アルバイト続かない、など「がんばろうとしたができなくなった」という人が多い。そんな人々が高齢者との交流を通じて、まちに愛されるような人物になっていく姿から、様々な人々に住んでみたい・活動してみたいと思ってもらえる可能性もあるのではないだろうか。

ペルソナ設定としてのニート

ニートは YouTube などネットにゲームや音楽の配信をしている。

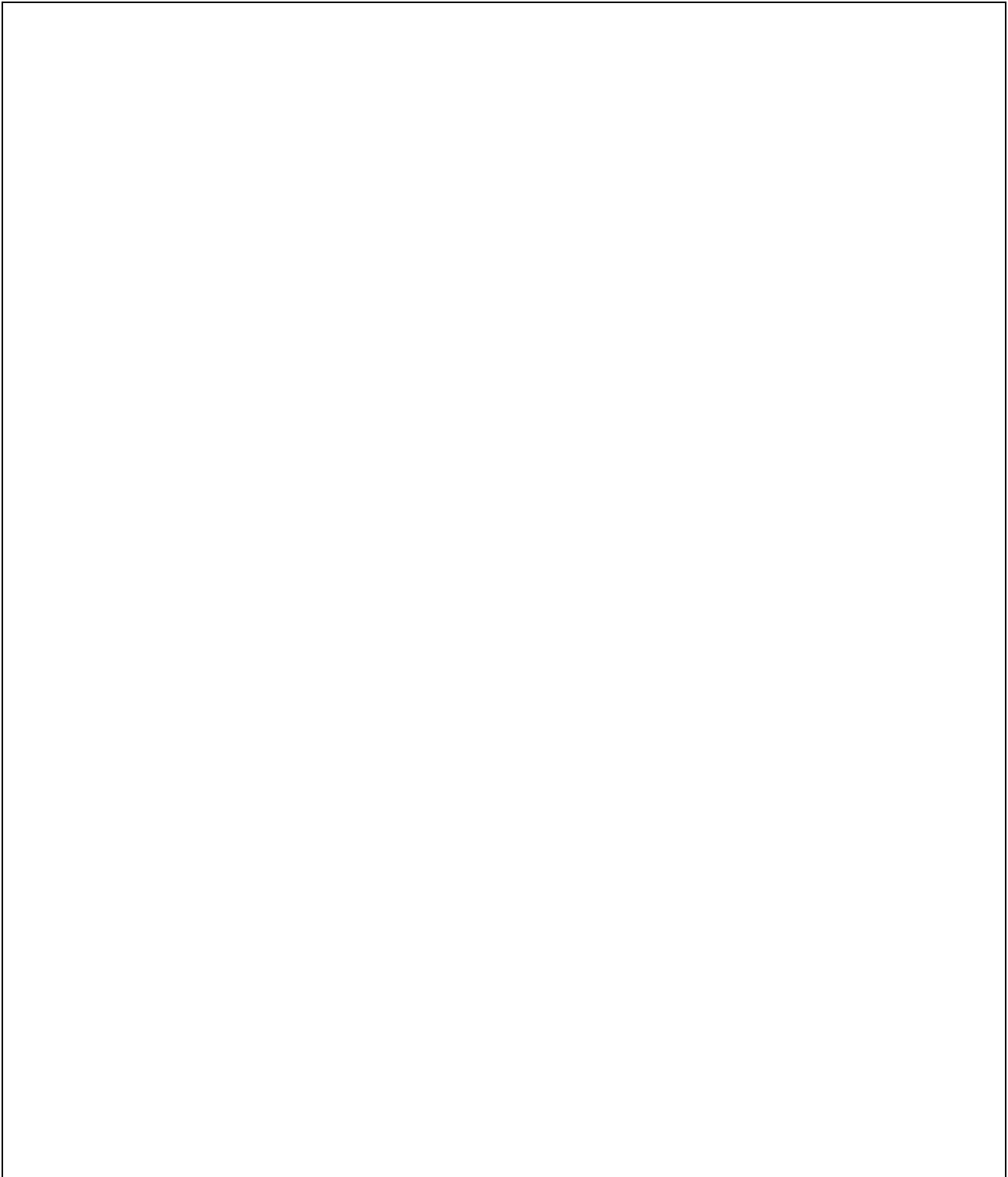
ニートは 20 歳で大学を中退。趣味はアニメ、ゲーム、音楽などの動画配信。現在の楽な生活を続けて、好きなことだけをしていたいと思っている。人との会話はあまり好きではないが、自分の好きななどの話はよく喋る。普段は普通の喋り方だがインターネットでの会話はオタクっぽくなる。

配信者の一日のイメージ

16:00 二度寝から起床
17:00 Twitter TLをみる
18:00 もう一度睡眠
19:00 食事
20:00 配信開始
24:00 配信終了

「運婆爺S」をやると

10:00 起床・準備
11:30 運婆爺s開始
13:00 終了
14:00 帰宅・食事
15:00 昼寝
20:00 起床・食事
21:00 ゲーム配信開始
1:00 就寝



(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

豊中市の高齢者世帯の現状

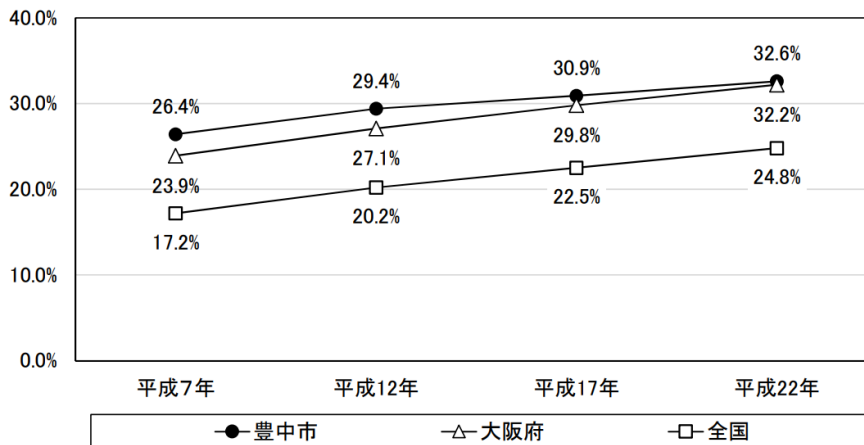
現在豊中市ではおおよそ40万人の人が生活しており、世帯数にして約17万5千世帯になる。

そしてこの内、高齢夫婦のみの「高齢夫婦世帯」高齢者が単身で生活している「高齢単身世帯数」は合わせて約40万世帯を超える。

実際に豊中市が行なった調査では「高齢者がいる世帯数に占める高齢者単身世帯の割合」が32.8%「高齢者がいる世帯数に占める高齢者夫婦世帯の割合」が32.6%という結果が出ている。

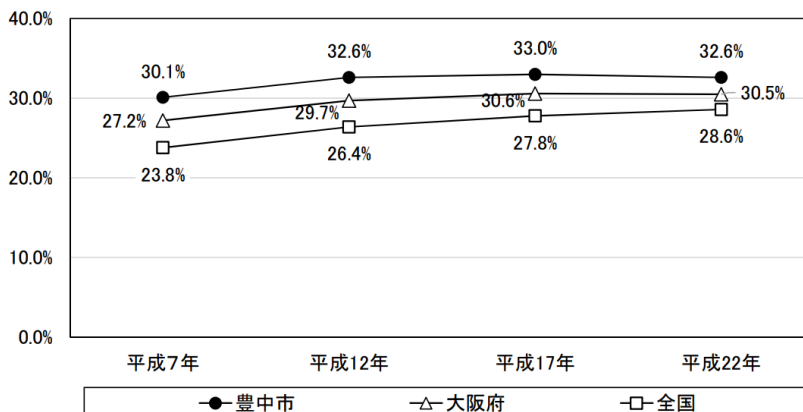
これを全国の割合と比較すると、それぞれ24.8%・28.6%と、どちらも全国平均を上回っていることがわかる。

【高齢者がいる世帯数に占める高齢者単身世帯の割合の大阪府、全国との比較】



資料：国勢調査（各年10月1日データ）

【高齢者がいる世帯数に占める高齢者夫婦世帯の割合の大阪府、全国との比較】



資料：国勢調査（各年10月1日データ）

※第7期豊中市高齢者保険福祉計画・介護保険事業計画 第2章豊中市の高齢者を取り巻く現状（前半）p8より

働きたくないけど誰かの役に立ちたいニート

全国に 61 万 7000 人、大阪府には 4 万 3000 人いると言われているニート状態の若者。

一般的にニートとは、その言葉のイメージから「学校にもいかず働きもしない怠け者」という社会の偏見が根強く、職業的自立がさらに困難になっているという現状がある。府の就労支援施設が面接したニート状態の若者約 1500 名の中で、6 割強に明確な就労意欲と行動が見られるという結果がでている。これは誰かの役に立ちたいということではないだろうか。

このシステムは高齢者がご飯を作ってニートに届ける。ニートはご飯を手作りの栄養の多いご飯を食べられるようになる。ご飯を届けることによってコミュニケーションもとれることができる。

また高齢者がご飯を届けている様子を高齢者の魅力や豊中の魅力を広めるといった意味で撮影し、それをニートが編集、配信をする。動画に人気が出るとニートのやる気も出てくるのではないだろうかと考える。

ニートと高齢者がつながることで災害や高齢者になにかあった時にニートが老人の手助けをすることもできるのではないだろうか。

動画配信について

●ニートだからこそ見つけられる高齢者の魅力とは？

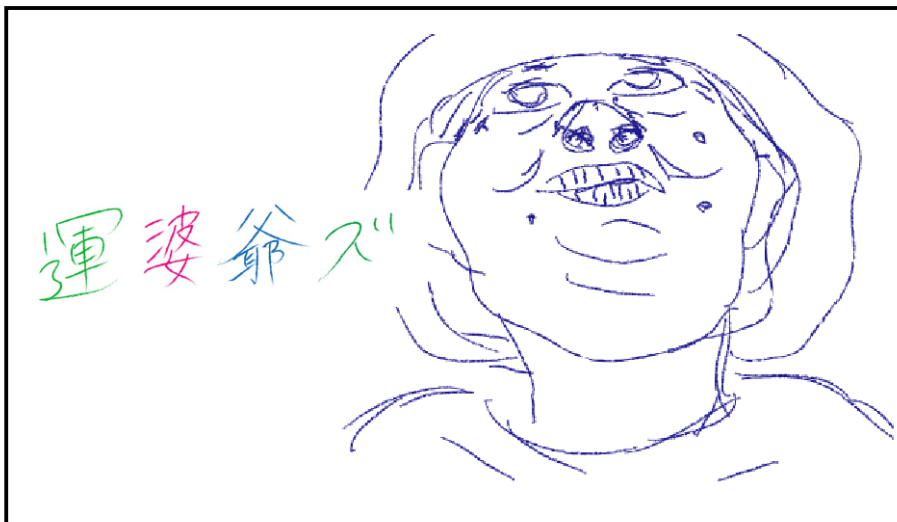
ニートは社会人や学生達が普段みることができない時間帯でも、高齢者の生活をみることができる。

自分と比べ一日一日を大切に、無駄な時間がないように生活しているのを見ることができる。

●動画配信で高齢者のどんな魅力がみえるのか？

まず外に出ることによって、普段家では見れないその人ならではの行動や表情が確認できる。また、ご夫婦や家族と同居している高齢者は、その人たちと離れた行動を配信を通して見ることで、家族以外と接している時の姿を見ることができる。さらに、豊中を高齢者が動き回る様子をリアルタイムで見ること、地域ならではの課題（高齢者向けのバリアフリー課題等）を直接高齢者の反応と一緒に見ることができる

動画配信イメージ図





(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

”「知りたい」ことがある地域の高齢者”と、”「知っている」ことがあるニート”(若年無業者)の
マッチングシステムを作成する。

ex)スマートフォンの使い方、SNSの使い方など

また、最終的にはこのシステムの拠点となる住居施設を作ることを目標とする。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
資金調達		クラウドファンディング 国中私立アソシエーション			
システム構築		マッチングシステム作成		システム運用開始	
人材募集			このシステムに賛同する 地域の高齢者およびニートを集める		
住居関連			野田小学校廃校のちに住居施設として活用できるようリノベーションを行う		完成予定

●アイデアを実現する主体

わたしたち、大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻生！

授業内で取り組めるように先生方を交渉します！

↓

●カネ

クラウドファンディングや市の助成金を活用

↓

●ヒト

高齢者：庄内の掲示板だったり市報を活用。行政の協力要請も。

ニート：SNSを活用。既存の支援組織などにも協力要請。

ex) とよの地域若者ステーション <https://www.toyosapo.com/>

↓

●モノ

配達する際の自転車、バイク：自転車のまち庄内であつめる。

